

目標達成計画

作成日: 令和 5 年 2 月 20 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	コロナの影響もあるが、ボランティアを招いての行事などが途絶え、地域との関わりが少なくなってしまった。	地域に根差した事業所であることを意識し、地域との関わりを増やしていく。	少しずつボランティア行事を再開させていき、外部との交流を増やしていく。また、職場体験の学生等の受け入れも可能な限り行い、開かれた事業所を目指していく。また、職員が地域行事に参加することも検討する。	12ヶ月
2	49	コロナの影響もあるが、散歩やドライブなどの外出支援が不十分であった。	外の空気に触れる機会を増やし、心身ともにリフレッシュできるよう支援していく。	ドライブなどは事前に計画を立て、実行できるようにしていく。散歩や日光浴などの外の空気に触れる機会も、その時の状況に合わせ臨機応変に対応し、実施していく。	12ヶ月
3	20	コロナの影響もあるが、家族様の訪問や面会機会が減ってしまった。	家族様と本人様と触れ合える機会を増やし、お互いにとって良い関係が継続できるよう支援していく。	コロナ禍で行っているオンライン面会や窓越し面会は継続しつつ、情勢を見ながら従来の面会ができないか、また一時帰宅はできないかなど、可能かどうかの判断を常に検討し、実現に向けて動いていく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。